

紙とスマホの共存共栄を考える-スマホ 時代のバスマップ ～これまでの流れと今後に向けて～

交通ジャーナリスト
鈴木文彦

2018/11/10

2018/11/10

なぜバスマップサミットの背景となる市民ベースのバスマップ作成が必要となったのか



2018/11/10

わからないから使わない （使えない）バス

貧弱だったバスのインフォメーション

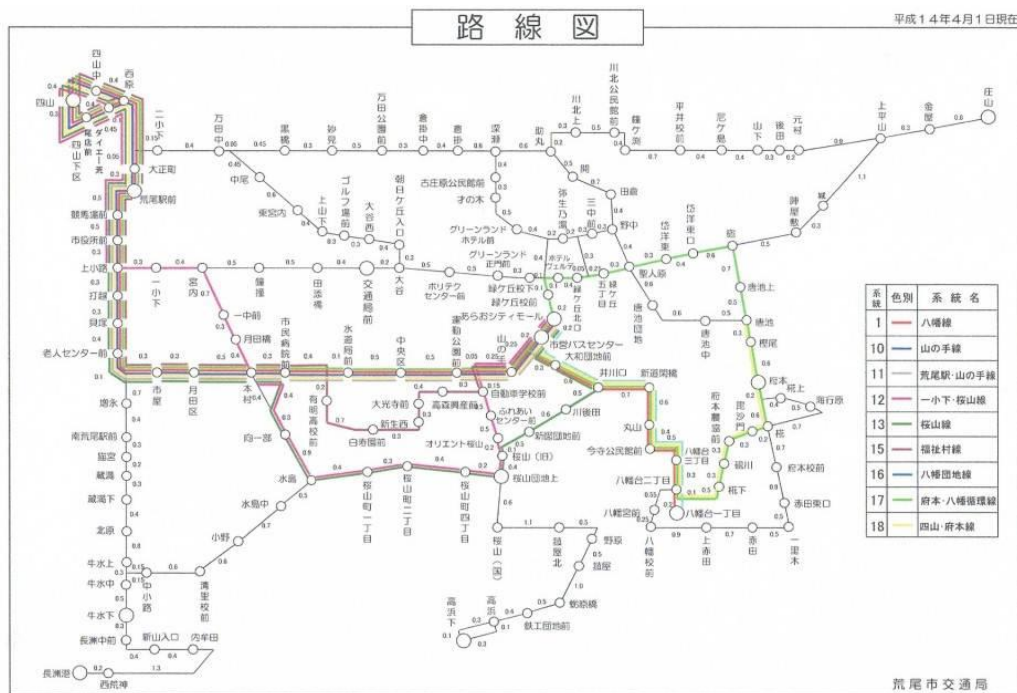
●熟知している者の視点でつくられる情報～初めての利用者にはまったく理解不能

●そもそも利用者に提供できるマップや時刻表がほとんどなかった

●バス停の表示情報の不備とメンテナンスの悪さ

●事業者ごと個別にバラバラの仕様で提供される情報

●デザイン優先の表記や色使い



⌘よそ者に理解できますか?

だから必要だった市民ベースのバスマップ

2018/11/10

インフォメーションは“知っている人だけがわかる”暗号であってはいけない

地元でしか通用しない表記や略称

●「SBC経由若団」行...何のこと?~訳すと「信越放送前経由若槻団地」

●道路標識に困ったことありませんか?

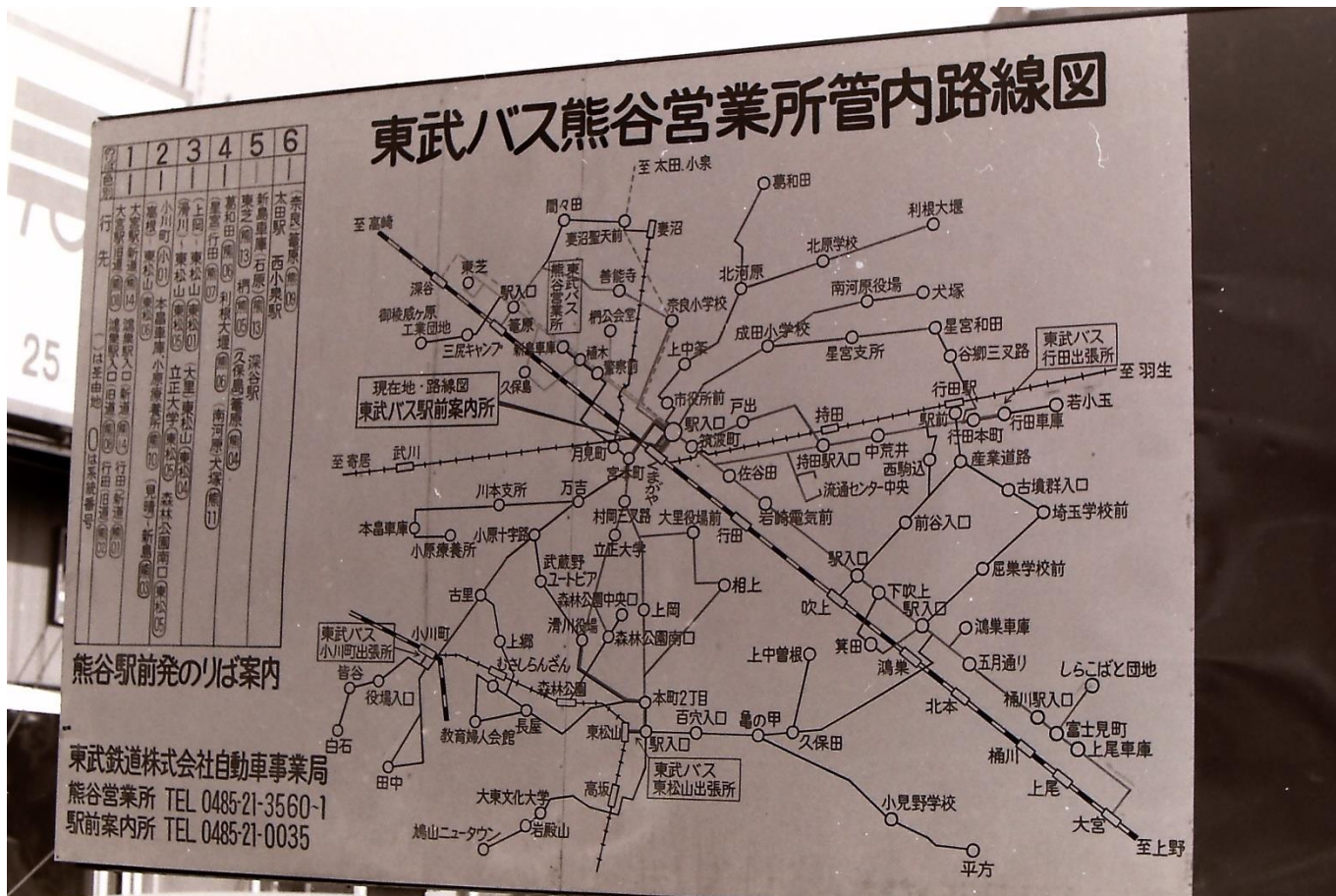
~右へ行くと「伊豆」、左へ行くと「伊豆の国」...ここ伊豆なんだけど

●今まで一つの地名をたどってきたのに、あるところでプツリ...実はバスや鉄道も同じようなことが

↪地元の人しかわからない行先表示



紙ベースのバスマップこの15年の進化



課題が山積だった15年前の現実

利用者が本当にほしい情報とは

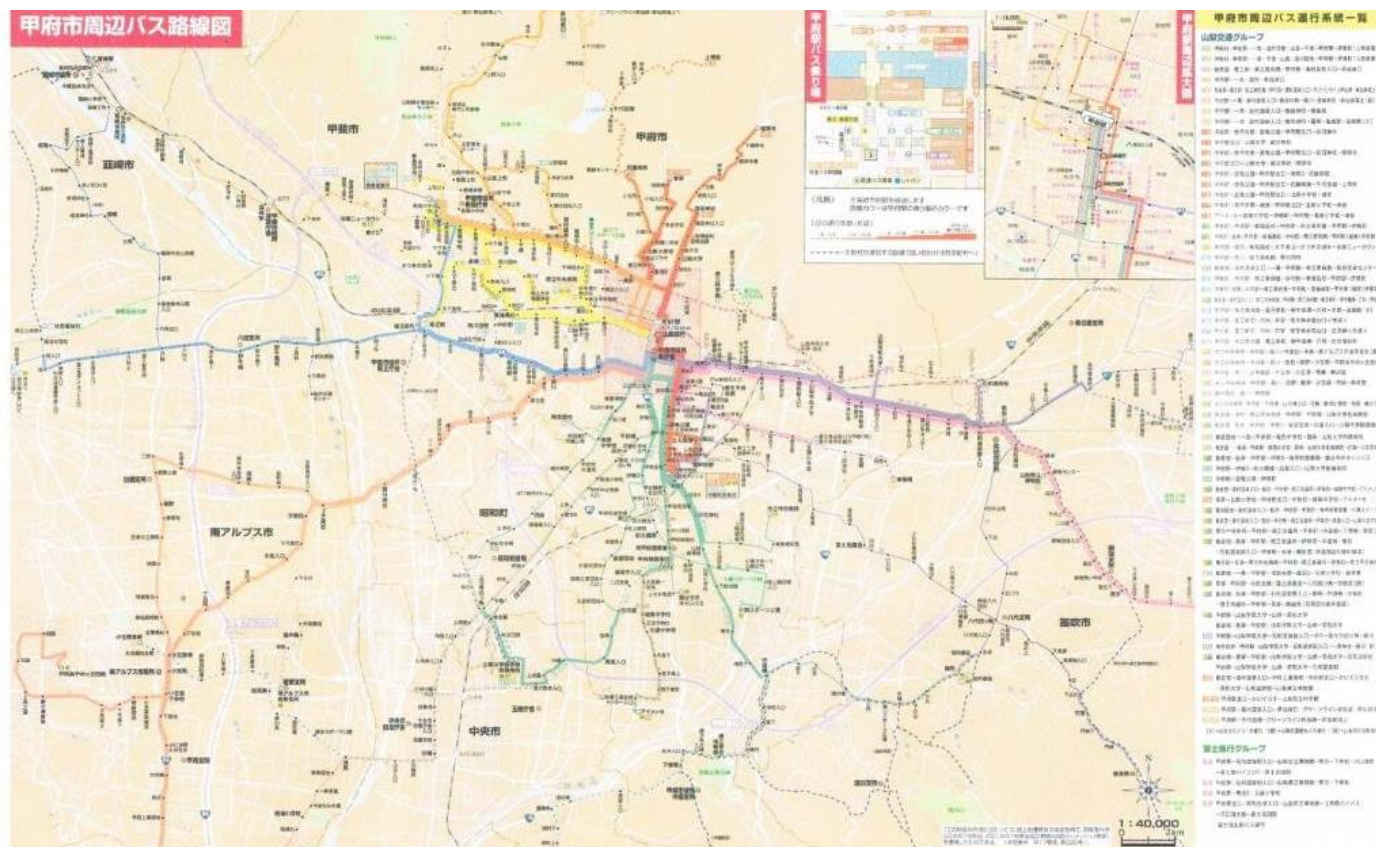
- 自分の目的地へのバスがすぐ見つけられるか
- そのバスはすぐに来るのか、時刻表を確認しなければならないのか
- どこからでもマップにアクセスできるためには～位置関係・距離感・方角・どの道路か～縮尺地図ベースの有効性

統一性のないインフォメーション

- バス停と車両（行先表示）の表記に整合性がない
- 表記の仕方が事業者ごとに異なる
- マップと時刻表、バス停、車両がそれぞれバラバラ
- 間違った情報ではないが不案内者には不安

2018/11/10

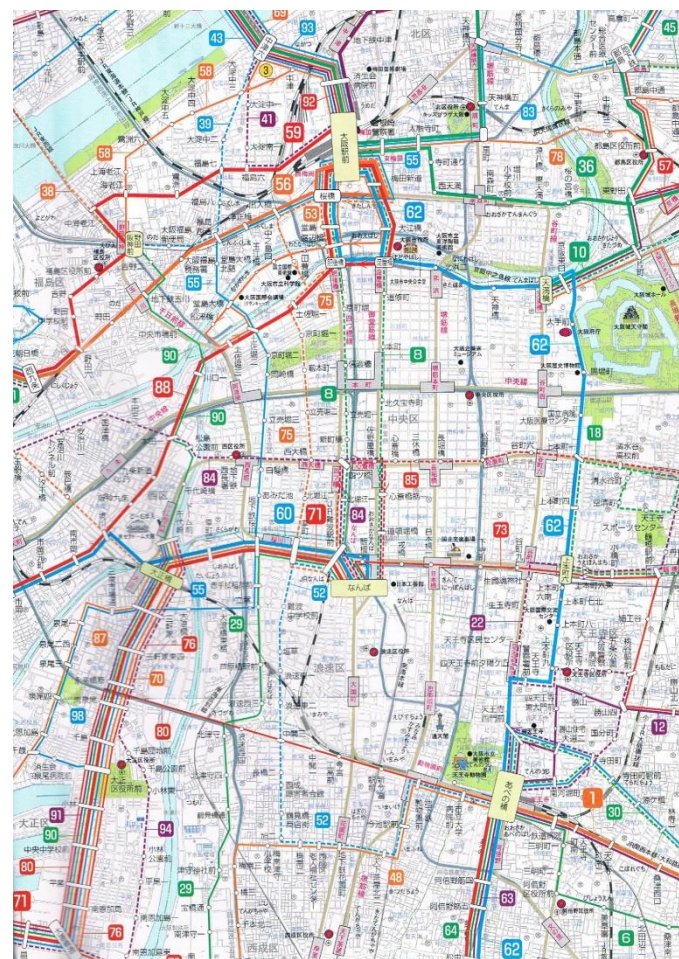
山梨バスマップにおけるノウハウの蓄積～縮尺図ベース ／運行頻度を太さで表現／複数事業者の統一化／系統別 ラインからの脱却／インフォメーション総合化への試み



2018/11/10

大阪市営バスマップの改良前→後

縮尺地図に乗せ、他社鉄道接続を明確化、頻度別に系統表記を変えた



盛岡市
バス路線マップ
 Morioka city bus route map
 平成30年9月発行

市手続バス
 町手続バス
 バスで
 行こうよ!
 バス東北
 バスマスター

「盛岡市 バス路線マップ」は Avenza Maps 対応だから、スマホやタブレットで閲覧可能!

Avenza Maps (アベンザ マップ) はオフラインで使えるスマートフォンやタブレット用のアプリケーションです。オフラインで使えるので、遠征目的の遠い山の中、海の上、海外旅行中なども、GPS機能が壊れて、事前に自分の位置を地図上で覚えることができます。自分の行きたい場所を地図の上に表示してから目的地へ行き、拡大しておきたい場所を写真撮影で記録し、保存することもできます。

アプリダウンロードはこちら

東村山市
公共交通
マップ
 2017年4月現在

銀河鉄道線
 TEL.042-398-0006
<http://www.gintetsu.co.jp>
 東村山市久米川町 3-22-1

東村山市役所 公共交通課
 TEL.042-393-5111
<http://www.higashimurayama.tokyo.jp>
 東村山市本町 1-2-3

西武バス㈱ 小平営業所
 TEL.042-342-2411
 小平市小川 1-336-2

東京交通㈱
 TEL.042-391-4455
 0120-524455
<http://www.tokyo-kotsu.co.jp>
 東村山市久米川町 5-28-12

西武バス㈱
 TEL.04-2995-8130
<http://www.seibubus.co.jp>
 所沢市久米 546-1

三幸交通㈱
 東村山市鶴岡駅前センター

Sendai SMART
 平成30年4月1日

バスdeスマートに
 行こう バスマップ Route map of bus

Sendai SMART

どこバス仙台 (仙台市内バスロケーションシステム)

「どこバス仙台」は、変更する停留所も発着する停留所も任意で検索するだけでなく、自分の乗りたいバスがどこにいるのかを地図上で調べることができるシステムです。
 (注) 道路事情や道路規制の状況により、実際の時刻と多少の偏差が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

バス接近情報
<http://www.city.sendai.jp/mi/kokyo/dokobus.html>

2015
 FUKUCHIYAMA BUSMAP
福知山市内バス
路線マップ&時刻表

発行：東村山市地域公共交通会議
 お問合せ：東村山市まちづくり部公共交通

福知山市

近年は市町村が頑張るようになってきた

- 増えてきた市町村による（事業者の別によらない）バスマップの作成
- 国の事業も後押し～「知ってもらおう」ことが利用促進・持続の第一歩ということに気づきはじめた
- 事業者と行政の協調も進んでいる
- それでもまだ課題も～市町村域の枠の中に限定／コミュニティバスに限定したマップ／など

2018/11/10

デジタル情報の台頭によりバスイン フォメーションはどう変わってきたか



デジタル情報の普及とバスインフォメーション

- 1990年代後半から急速にWebによる情報提供が増え始めた
- 最初は時刻表検索（静の情報）～次第にリアルタイムのバスロケ（動の情報）へ
- FAXサービスからパソコン、iモード、携帯電話、そしてスマホへ
- 各事業者による個別のWeb対応から、時刻表検索サイトによる総合化へ
- 時刻表検索サイトのバスへの拡充～それによりバス検索へのアクセスが容易に

デジタル情報の効用

紙ベースでは無理があったことが実現

- バスはしょっちゅう変わる～だからバスマップや時刻表がつくれない⇒リアルタイムの情報を反映できる
- 基礎になるデータがあればそれを目的に応じて加工し提供できる
- 得られる情報の範囲が拡大
- 自分にとって必要な情報を選択できる

2018/11/10

電子情報があれば紙情報はいらぬのか ～実際の人（利用者）の行動とバスマップ



まずは事前検索～Web情報があればOK？

デジタル頼みのインフォメーションは使えるのか

- 現在各社HPでは路線図・時刻表を検索できる事業者が大半～運行情報も普及
- しかしインターネットによる情報発信をしているからよしとする考え方が蔓延
- まずネット環境を持たない人が置き去り
- 次にスキルの高くない人が脱落～各社で検索の仕方・順序が異なる・どこかで間違うとたどり着けない
- ある程度その路線の知識（バス停名など）がないと検索そのものができない
- 親切でない検索方法～正確なバス停名を入力しないとそこでエラー・系統別の表示（複数系統が走る区間で系統ごとにしか出てこない）など

2018/11/10



利用者の情報の使い方

- 電子情報をプリントアウトして持ち歩く人も多い
- 複数の情報を参照しながら調べたい／広い範囲のマップを見渡したい⇒紙の「一覧性」のメリットが生きる（スマホで画面を変えながら行ったり戻ったり別の画面を開いたりでは面倒）
- 案内板があればやはりまずそこへ行く人が多い

結局“紙”頼みも必要

2018/11/10

相互補完と共存共栄



これから変わってゆく相互の関係

どちらが優れているという話ではなさそう

- 5年後にはスマホを普通に使える人が高齢者に～
Web検索ができない人が確実に減る
- とはいえ「一覧性のメリット」や「小さな画面の限界」による紙ベースの優位性は残る

問題意識の根っ子は共通

- これまでのインフォメーションのあり方に対する課題認識は紙からのアプローチもデジタルからのアプローチも同じ
- どんな手法でどんな見せ方をするかの違い
- とすれば...双方のメリットを生かすのはこれから

2018/11/10

今後のバスインフォメーションに向けて ～現状紙にもスマホにもかなり残る課題



2018/11/10

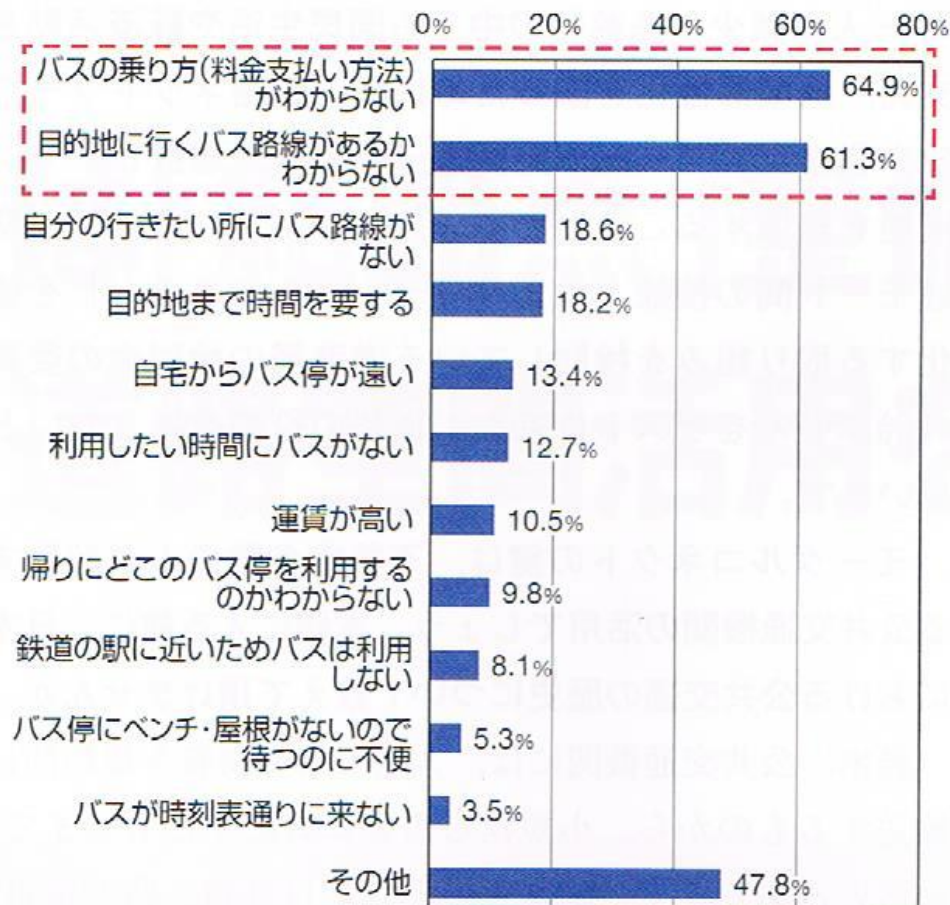


図-3 山梨県・バス利用に関するアンケートの結果
「バスを利用しない理由」(n= 3254)
(出典：山梨県交通政策会議資料〈2016.5.23公表〉)

『路線バスの旅』がほぼ流行らない根本原因

テレビにあれだけバスが出てきても...路線バスの利用者は増えていない

なぜ?~その1

ローカルバスは地域のニーズでできている
→外来客にとって使いやすい設定とは言えない

なぜ?~その2

つながらない路線バス~路線廃止による分断・末端部からの撤退

なぜ?~その3

わからない路線バス

2018/11/10



ではわかるようになってきたのか

- デジタル情報の活用で幅広く、きめ細かくインフォメーションができる基盤はできてきた
- とはいえ、その料理の仕方や見せ方は相変わらず「わかっている人の視線でつくるマップ」が多い
- オープンデータでできることはさらに広がるが、「オープンデータ化」そのものが目的化する傾向
- 外国人にはまだまだわかりづらい

↪ 数字 (+アルファベット) で系統を表すのは世界標準

2018/11/10



外国人旅行者にもわかるバス インフォメーション

バス系統番号に漢字を使う愚

- 首都圏などに見られる漢字を使った系統番号～外国人には理解不能／日本人でも理解しにくい
- 「業10」＝業平橋（現東京スカイツリー）駅発の系統／「海01」＝海老名駅発の系統／...連想できますか？
- 「亀」は亀戸、亀有は「有」...う～ん
- どう読む？音で聞くとどうなる？
- ようやく「バス系統ナンバリングガイドライン」にこぎつけました

2018/11/10

ハードからハートへ～ 最後は人のサービス



- どんなにWEB情報が発達してもいちばん安心できるのは人による案内
- 手づくりの案内でも暖かさが通じて好評
- 高齢化に対応して乗降や案内をアシストするアテンダントを乗せるバス・鉄道も
- 利用者と接することによって乗務員もサービス精神が芽生える
- 大切なのは笑顔と機を見た接遇

↪ 不案内な乗客への乗降サポートや観光案内を行う電車アテンダント。明るい笑顔と親切さが評判に（一畑電車）

2018/11/10

ハードからハートへ バス案内人の存在

駅前バスターミナルに常時配置されたバス会社名を明記した案内人の存在が利用者に安心を与える（盛岡駅）

病院アクセス路線の「アイバス」（しずてつジャストライン） 専門の女性アテンダントが高齢者の乗降をサポートする



2018/11/10

本当のインフォメーションに向けて

- 通常の運行をしているときのインフォメーションはよくなってきたが...
- 災害などの異常時のインフォメーションは決して十分ではない
- 特に外国人には状況すら伝わっていない
- デジタルでできることもあるし紙ベースが重宝される場面もあるはず

≪遠く広島の地で災害時の鉄道代行バスに勤しむジェイ・アール北海道バス

